

お西さん

2000
11-12

「天信海」



報恩講 御満座法要

山を賞でる人あり、海を賞でる人あり、人それぞれに大自然の美しさに、ひかれるものである。賞でる目、そしてその心は、はや詩人である。

報恩講を終えて、一年の月日の早さに思いをこらしながら、函館山に登ってみた。冷風が突き刺さるが、右には噴火湾、左に函館湾、うしろには津軽海峡、三方視界は海であった。

親鸞聖人の「海」への思いは、正信偈には「五」を数える。

「如衆水入海一味」(もろもろの水は海に入つて一味なるが如し)も、その一つである。

御和讃には「十五」首も拜聴できる。

「小慈 小悲も、なき身にて

有情利益は、おもふまじ

如来の願船いまさずは

苦海を、いかでかわたるべき」(悲歎述懐和讃)

も又その一つである。「教行信証」(御本典)の中には「八十」を越える。

海をなぞらえたお言葉は、「難度海」「愚痴海」「衆生海」「生死海」「諸有海」「群生

海」「無明海」「信心海」「一乗智願海」「真如一実心海」「徳海」「慈悲海」「誓願海」

「法門海」「選擇大宝海」「功德大宝海」「清浄智海」「難思法海」「光明の広海」等

挙げれば四十種にのぼる。

聖人が海に寄せられた「生死の苦海」「本願大智海」とはこの世という「苦海」にあつて如来の智慧を頂くことによつて、迷いから転ぜられるという詩的表現の素晴らしさが、また魅力である。

私には、三方海に囲まれた函館の市街地は、函館山から見下ろして正しく「白道」にみえた。

輪番 鷺山 諦住

12月28日(木)~30日(土)は本堂の「御煤払い」と、
御本尊の「御身拭」のため月忌参りをお休みさせていただきます。

ふれあいの寺 本願寺函館別院

函館市東川町12-12 ☎(0138)23-0647

仏婦旅行



函館別院仏教婦人会の

研修旅行に参加して

加賀 起久子

残暑厳しい8月23日、毎年夏恒例の仏教婦人会研修旅行が計画され、担当の高倉さん、石神さんと会員23名が参加いたしました。

鷺山御輪番のお見送りを受けお天気にも恵まれ、ACC専用のとても乗り心地よい大型送迎バスで函館別院を出発いたしました。

まず江差別院にお参り致しまして本堂でのおつとめの後、以前函館別院に在任されていた森井御輪番の法話を頂き、婦人部の方々によるお茶の接待を受け、短時間でしたが江差別院をあとに乙部町にあるACCに向かいました。

ACCルネッサンスセラーは宿泊施設もある立派なホテルで、この日は函館別院の貸し切りでした。それぞれが自由に海藻パックのお風呂に入り、日頃の疲れを癒しお肌もすすべになりました。次にエステティシャンの方々の美顔マッサージとパックで気分も最高でした。皆さん全身ツルツル、ピカピカになり「?歳は若返りしてきた」と大満足の様子でした。次回の研修旅行にはたくさんの方々の参加を楽しみにいたしております。

Q&Aコーナー

ご門徒さんのご質問に
お答えします



Q

よく台町(船見町)のお墓にお参りに行くのですが、出張所にお寺さんがいる時と鍵が掛かっている時があります。何時にお伺いしたらお勤めしていただけるのでしょうか?

A

お盆やお彼岸を挟む前後、2~3日は朝9時位より待機しています。普段は、午前中に月忌参り等がありますため閉鎖させていただいております。基本的に午後1時位より出張所に待機しています。尚、法務の都合により終日閉鎖させていただく日もありますので、墓経をご希望の方は早めに本院(23-0647)の方までご連絡下さい。



御法中の皆様
ありがとうございました



笑顔で参拝。ようこそようこそ。



早朝から遅くまで
ありがとうございました。



抹茶、美味しかったです。



御講師
岩見紀明氏の
御法話



おつかれさま
でした!

報恩講

宗祖親鸞聖人

スナッフ集

平成12年
10月13日~16日



野田参勤の御伝鈔拝読

どう?
決まってる?

う、うん...

あ〜、のど乾いた。ゴクゴク...



台町出張所報恩講



うわ〜!!
やっちゃった〜。



美しい
浄土の音色



よるこびの広場でのひととき





●お浄土の荘厳●

十月十三日から十六日まで親鸞聖人様の報恩講の法要がおつとまりになりました。お参り下さった方は、今までの別院とは、何かが違うと感じられたのではないのでしょうか。そうです。本堂の荘厳(おかざり)がすべて綺麗になったのです。

来年五月に御門主様をお迎えして、御親修法要がおつとまりになります。

この度の修復も、法要に向けて三カ月もかかつての大掛かりなものでした。長年の間、ローソクやお香のすすで黒くなつてしまつた仏具も見事に金ピカになりました。ご存じのように、お寺の内陣(仏様が安置されている一段高くなつたところ)や皆さんのお宅のお仏壇は、お浄土のすばらしさ、美しさが表されています。ただ単に金ピカしている訳ではないのです。素晴らしく綺麗になつた別院の本堂で、阿弥陀如来様のお浄土の荘厳をあらためて感じつつ、そのことを私たちに教えすすめて下さつた親鸞聖人様のお徳・ご恩に報いる法要が、美しくなつた本堂で今年もおつとめできたことをうれしく思うことでした。

(吉村)

●理想の夫婦●

函館の地に生まれてあつたという間に半年が経ちました。気が付けば、白い雪が舞う季節です。さて今回は山の手二丁目にお住まいの汐見さんを紹介させていただきます。

お参りさせていただく度にお茶を頂きながら、汐見さん御夫婦とお話しさせて頂くのですが、御夫婦との会話の中から本当にやさしくて仲の良いお二人だなあと感じます。旦那様の話す時の目や、奥様の受け答え方、本当に幸せそうな御夫婦です。私もいずれ結婚したら、年を取つてもお互い手をつないでいられるような仲の良い夫婦になりたいものです。汐見さん御夫婦の仲むつまじい姿を見て北海道の寒い冬にも負けない暖かさを頂きました。

(上野)

●よいひびの田●

今年の報恩講も無事お勤めさせていただきましたことができました。十六日の御満座の後、お参り下さつた方としてお手伝い下さつた方々と一緒に、「よろこびの広場」を始めました。その中で親鸞聖人に関わる○×問題で、二百人以上の参加者が問題が読み上げられるたびに悩まれている姿、また前の方から○×だと合図を出してくれる姿がありました。その中で最後まで残つた人が、私がお参りさせていただいている堀川町にお住まいの岩野さんでした。

最後の一人に決まつたとき手を挙げて喜ばれていた姿、そして大きな拍手の中、照れくさそうに賞品を取りに前に行かれる姿、またお集まりになつた方々がそれぞれ喜んで下さっている姿を見て、改めて無事に報恩講を終えることができたと感じさせていただきました。

ぜひ皆様も、堅苦しい気持ちを持たずにお寺のいろいろな行事にお越し下さい。

(神田)

●未来への責務●

今回は日吉二丁目の糸川さんをご紹介させていただきました。

糸川さんのお宅にお伺いして、時間があるときはよく現在の日本の問題や、これからの日本はどうしたらよくなるかというような話をして下さいます。学校の先生をされていて、また現在も民生委員として活躍されている糸川さんは、こんな若い私にも真剣に話して下さいます。

確かに今の日本では、今までにないような事件や問題が多数ありながらも、私自身あまり自分のこととして考えていないのが現状ではないかと思えます。しかしそんな問題をしっかりと考え、また自分の出来ることをしっかりとされている糸川さんが「これからは若いあなた達の時代だからがんばつて下さい」とおっしゃることを聞くと、本当に私自身大きなことではできませんけれども、問題を自分のこととしてとらえ、少しずつでも僧侶として自分の出来ることをしていかなければならないと感じました。

(石黒)

●いい旦那?●

別院の報恩講も婦人会の皆様をはじめ多くの皆様のお力添えにより無事終わりました。その中で東川町よりお手伝いに来てくださいました谷内田さんのお宅に先日お伺いいたしました。

報恩講の御礼を言ってお話していると、たまたま一緒にお手伝いさせてもらった私の嫁を随分と「いい奥さんねー」と言っていたとき、私も「谷内田さんのお陰で」と有り難く聞いていました。が、ある疑問が浮かびました。私が嫁に「今日誰々さんにいい奥さんだねって言われたよ」とは云いますが、嫁から「いい旦那ねって言われたよ」とは聞かないんです。谷内田さんは「そんなことないよ」と笑ってくれましたが、これからは「いい旦那」目指して日々努力!

(高倉)

●これからおねがいします！●

十月十六日親鸞聖人報恩講御満座法要が修行されました。そのあと、「よろこびの広場・役員班長の集い」が行われました。平素からお世話になっております役員・班長の皆様、お参りして下さった門信徒の皆様と共に、本当に楽しい一時を過ごさせていただきました。

九月から縁を頂き川原町の方で班長をお願いしております須見さんも、法要にお参りしていただきその後も参加して下さいました。お盆参りの時に、「何かお寺のお手伝いを」とおっしゃって下さったのがきっかけで、お願いさせていただきました。お帰りになられる時に「楽しかったです、ありがとうございます」とお声をかけていただき本当にうれしかったです。人と人のつながりの大切さや、たくさんの方々の大きな力に支えられているということ、あらためて感じさせていただきました。

これから寒さ厳しい季節になりますが、お身体大切にしてください。またご迷惑おかけしますが、これからもどうぞよろしくお願います。

(八木)

●報いる●

大学に入るまで、私は家がお寺であることが嫌でたまりませんでした。あの頃の私は報恩講になると、お参りやお手伝いに来られたたくさんの人を避けて自室にこもって二人で食事をする、まさに苦痛の2日間を過ごしていました。それを思えば、本当に今の自分はいふぶん変わったものです。

先日、当別院で報恩講が動きました。右往左往と失敗の繰り返しで、誇れるような働きをしたなどは口が裂けても言えない私でしたが、ただの傍観者だった今までの報恩講とは違うものを感じることができた気がします。足が痛くてもお参りに来たい人がいる。その人たちのために疲れていても働く人がいる。同じ教えに生きる人たちがそれぞれの方法で恩に報いている姿は、私の受けてきた恩とまだまだ恩に

報いきれない自分を教えて下さいました。

わがままな気持ちばかりで分からなかったけれど、あの頃からずっと、私は恩をもらっていたんですね。これからも恩をもらいながら、自分なりに報いていきます。

(平田)

●愛犬と共に●

桔梗町にお住まいの小島さんのお宅にお参りに寄せていただく、いつも小島さんと一緒に十六歳になる愛犬の「あんちゃん」に迎えてもらい、おつとめを始めるとあんちゃんは私の後ろで横になって眠ります。

しかし、先日のお参りにはあんちゃんの姿が見えませんでした。どうしたのかなと聞きますと、あんちゃんは病気で下半身が動かなくなっているとのこと。いつまでもつか分からないということでした。おつとめを終えて振り返るとあんちゃんが前足だけで這って動いていました。その姿を見たときに、来月も遇えるかな、と思うと涙が出そうになったことです。

あらためて「あんちゃん」有り難う。一日も長生きしてね。

(毛利)

●おふくろの味●

ちようどお彼岸の頃、中島町にお住まいの中島ハナさんが納骨堂へお参りに来られて、お勤めをあげさせていただいた時に、手作りのおはぎを頂きました。その何日か後にご自宅へお参りに伺ったところ、今度は炊き立ての栗ごはんをいただきました。どちらも手作りの暖かい味がして、たいへんおいしくいただきました。

自炊していると、ついついカップラーメンに手が伸びてしまう今日この頃……。そんな中、ハナさんにいただいた「おふくろの味」は、私のお腹だけでなく、心もいっぱい満たして下さいました。ありがとうございます。

(石神)

●思いがけない喜び●

今年の報恩講もいろいろなお方のご協力のおかげで厳粛におつとまりになりました。

今回もいろんな人との出会いや新しいものを感じることができました。報恩講期間中のある日、おあさじのお勤めが終わりほつと息朝のおときを頂いていると、斜め前に見たことのあるお顔がありました。それは毎月お参りにお伺いしている大手町の太宰くにさんでした。太宰さんとは、お参りの後お茶を頂きながらよくお話をします。お孫さんが現在関西にいらっしゃるの、お母さんと3人で京都の話題などで盛り上がりします。そして「昔はよくお寺にお参りに行ったけれども、最近は行かなくなつてねえ。また、お参りに行きたいねえ。」とよくおっしゃっていた太宰さんが、お寺にいらしていたのです。くうれしかったです。近づいて挨拶すると太宰さんは笑顔で、報恩講にお参りできてとても喜んでいらっしゃいました。

これからも元気なおはあちゃんで行って下さいね。

(野田)

乙女のつばき

《事務員日記》

本堂の畳が新しくなりました。照明も明るくなりお内陣もピカピカと輝いています。

外壁の色も塗りかえられました。気持ちよくて嬉しいものです。

初雪も降り日に日に寒くなつてまいりました。冬支度もあるかと思いますが皆様ぜひきれいになった本堂にご参拝下さい。

(山崎)



平田 作

◆◆西別院からのご案内◆◆

仏教壮年会・覚信尼会
仏教青年会合同

報恩講

12月16日(土) ●午後6時より
●本堂にて

法話 鷲山輪番

仏教婦人会

報恩講

物故者追悼法要

11月23日(木) ●午後1時より
●本堂にて

法話 鷲山輪番

新年の始まりに
お参りしましょう。

修正会

1月1日(月)

元旦

午前7時より本堂にてお勤め

■除夜の鐘をつきましょう■



除夜会

12月31日(日)

大晦日

午後11時30分より本堂にて
おつとめの後、引き続き除夜の鐘

●仏教壮年会・甘酒等ボーイスカウトかがり火付番の
ご奉仕で皆様をお待ちしております。

初めての体験が、君たちをまっている



小学生になったら、きみは元気なビーバーだ!

ビーバースカウト活動は、ボーイスカウトで一番年少の
小学校就学前の9月から小学2年生までを対象としています。
活動は、土曜や、休日の余暇を利用して行われ、この年代の特性や
成長をふまえて、次の3つのことにねらいを置いています。

(●みんなとなかよく遊ぶ●自然に親しむ)
●楽しみや喜びをわかちあう

ビーバースカウト活動のプログラムの1例 ビーバー隊年間活動例

テーマ

- 9月…集まれビーバー
- 10月…実りの秋
- 11月…ほくら忍者
- 12月…暖かい心と手
- 1月…仲良しビーバー
- 2月…風の子ビーバー
- 3月…北風と太陽
- 4月…春のあし音
- 5月…青空高く
- 6月…ほくらのまち
- 7月…ほくはものしり博士
- 8月…太陽がいっぱい

主なねらいと内容

仲間意識を育てる—入隊式・仲良しゲーム
秋の自然に親しむ—落ち葉ひろい・はり絵
創造力を養う—忍者道具作り・忍者ゲーム
奉仕活動—年末助け合い募金・もちつき
他の団との交流—年頭交歓大会
冬の遊びを体験する—雪中ハイキング・ソリ遊び
自然を知る—風車を使って遊ぶ
春の自然にふれる—山菜採り・押し花作り
エネルギーの発散—ピクニック・公園で遊ぶ
郷土意識を育てる—街を調べ見学する
思考力・探求心を養う—乗り物・動物・天体などを調べる
冒険する心を育てる—ビーバーキャンプ

お問い合わせ

本願寺函館別院ボーイスカウト函館第2回
担当/石神まで

お寺へ行こう

ようこそ常例布教へ

- 十月十三日(月) 北海道教区 十勝組 誓願寺
 - 十月十五日(水) 頓宮 彰玄氏
 - 十月十六日(木) 親鸞大学「十四時より」
 - 十月十三日(水) 北海道教区 後志組 明善寺
 - 十月十五日(金) 鹿谷 法純氏
 - 十月十六日(土) 親鸞大学「十四時より」
- ※なお、毎月十六日は、十二時半より「十六日会」です。

お悔やみ申し上げます

永代経懇志
ありがとうございました

第6回 函館南無の会 仏教講演会

平成12年

日時 **11月18日(土)**

午後2時より

会場 **本願寺函館別院
文化会館**

函館市東川町12-2(高砂通り)

TEL.23-0647

(詳細は上記へお問い合わせ下さい)

講師 **佐々木久子**(随筆家) 講題 **「酒と旅と人生と」**

会費 **1,000円**

主催 **函館南無の会**



生きるよろこびを
親鸞聖人に学ぶ

函館親鸞大学

◆講師 **渡辺 脊龍氏**

◆開講日時 **毎月16日**
午後2時より

※但し、7月・10月は休講

◆受講料

無料

(但し、教材費別途)

入学に
年齢・資格
性別の制限は
ありません

どなたでも
お気軽に御参加下さい。

編集後記

▼十一月を迎えると、朝夕の冷え込みも「層厳しくなり、函館山も美しく紅葉しこれから始まる長い冬の訪れがそこまできています。この季節は新米を頂くことができ、あらためて収穫・実りの秋に感謝します。大自然の全てが大地に帰っていくこの季節に、急ぎ足で歩いたこの一年をふりかえりつつ、これからも自分の足もとをしっかりと見きわめていきたいものです。

(野田)

▼親鸞聖人のご遺徳を偲ぶ法要、「報恩講」をおつとめさせていただきました。十六日の満日中には心身共に報恩感謝させていただくよろこびを感じさせていただきました。御法中様、各教化団体の皆様はじめ、たくさんの方々のお世話になり、本当に有り難うございました。

(八木)

● テレフォン法話順番表 ●

- 11月 5日(日)~11月11日(土)…輪 番
- 11月12日(日)~11月18日(土)…副輪番
- 11月19日(日)~11月25日(土)…布教使
- 11月26日(日)~12月 2日(土)…野 田
- 12月 3日(日)~12月 9日(土)…吉 村
- 12月10日(日)~12月16日(土)…高 倉
- 12月17日(日)~12月23日(土)…布教使
- 12月24日(日)~12月30日(土)…石 黒

お西さんテレフォン法話

24時間お好きなときにいつでもどうぞ

0138 **27局2424番**

学校法人 龍谷幼稚園便り



報恩講のお参り

10月14日は、幼稚園の子どもたちの報恩講のお参りで、本堂へ行きました。本堂の前まで行くと、子どもたちからは「お寺がきれいになったね。」「ピカピカ光ってるよ。」と声が聞こえました。一步本堂に足を踏み入れると、子どもたちのおしゃべりもいつの間にか聞こえなくなりました。まわりを見れば、いつになくたくさんの「おぼうさん」がいて、園長先生の「衣」もいつもと違います。子どもたちは少し緊張していたようですが、たまにはこんな緊張感もいいなあ、と思いながらお参りの様子を見ていました。園長先生からの報恩講のお話は子どもたちにも分かりやすく、「先生、報恩講ってしんらん様にありがとうって言う日なんだね。」と言っていました。そして、最後まで立派にお参りました。みんながごほうびをいただいて、子どもたちの報恩講は終わりました。



平成
13年度

園児募集

人の心のやさしさ(慈悲のこころ)を伝える宗教教育、それが **龍谷幼稚園** です。



願書受付
平成12年
11月7日 火
13:00から



お問い合わせは **龍谷幼稚園 ☎23-0274**